

八尾モール株式会社経営状況報告

八尾モール株式会社の経営状況につきまして、ご報告申し上げます。

八尾モール株式会社は、近鉄大阪線高架下及び旧駅跡地の店舗並びに関連用地の建設、管理、運営及び賃貸借並びに経営に関する業務を行うことを目的に、昭和49年8月12日に設立し、現在、高架下店舗65店舗の賃貸事業を主として行い、近鉄大阪線八尾駅高架下の周辺地域における商業集積の活性化に努めているところです。

空き店舗は、ここ数年続いた増加傾向に歯止めがかかりましたが、昨今の経済情勢の影響から、今後も厳しい状況が続く見込みでございます。引き続き、空き店舗の減少に努め、業績の向上に努めてまいります。

まず初めに、平成28年10月1日を始期とする第43期の予算および事業計画につきまして、別冊予算及び事業計画書に基づき、ご報告申し上げます。

2ページの予算計画について、ご説明申し上げます。

売上高は、賃料収益、分担金収益等の増加により2億6,300万円、販売費及び一般管理費は、給料、減価償却費の減少等により、2億4,421万円を計画しております。この結果、営業利益は、1,879万円を計画しております。また、営業外収益100万円を含めた当期経常利益は、1,979万円を計画しております。

続きまして、第42期の決算につきまして、別冊決算報告書に基づき、ご報告申し上げます。

2ページの貸借対照表について、ご説明申し上げます。

資産の部につきましては、流動資産4億6,220万4,508円、固定資産3億2,939万7,288円となり、資産合計は7億9,160万1,796円でございます。

負債の部につきましては、流動負債6,422万9,005円、固定負債2億7,314万5,523円となり、負債合計は3億3,737万4,528円でございます。

純資産の部につきましては、資本金1,000万円、利益剰余金4億4,422万7,268円で、純資産合計4億5,422万7,268円となり、負債・純資産の合計は、7億9,160万1,796円でございます。

次に、3ページから4ページまでの損益計算書につきましては、売上高は、固定賃料収益、共益費分担収益の増加等により、2億6,225万0,728円となり、販売費及び一般管理費は、退職給与費、販促費の増加等により、2億4,714万7,283円となりました。

この結果、営業利益は、1,510万3,445円となり、営業外収益103万8,141円を加えた経常利益は、1,614万1,586円となり、当期純利益といたしましては、法人税、住民税及び事業税を差し引いた結果、1,142万7,237円を計上いたしました。

なお、5ページの株主資本等変動計算書に記載のとおり、前期繰越利益を加えた繰越利益剰余金は、2億4,172万7,268円となっております。

以上、八尾モール株式会社の経営状況の報告といたします。